（十五日夕刊）

休刊　祭日　第一　第三日曜
定價　一ケ月　一部　二錢　郵税　六十錢　十五錢
廣告料　卷行六十錢　指定廿錢　增
福島縣平町田町十六番地
發行所　磐城新聞社
電話五六四番

思ひ出草（34）

哲

古いスクラップブックから

北と南の野蠻人

◇霧社の兇蠻事件と北邊の土人を憶ふ

多來家戰爭（二）

及渡りに猛熊を斃す毒藥のブシとを塗りね、弓矢鎗などのわざものを以て散々に打ち据ゑられすき間なき身の痛た手に今や虫の息となつた父は夢助からうとは思れたかつたので今はこれ迄と觀念し一天の神もみそなはせ地の神もみそなはせかくしてわれ今殘虐なるアイヌの兇刃にたをるゝは種族の爲めげにも口惜しき極みである今は定命われこれよりは幌内の川底深く安らけき眠りに入るであらうが我が國人がなどてこの蝦夷の地へ難き辱しめに甘んずるであらうか……」と無限の恨みを懷いて、狼籍の小屋の裡ほど火今や消えなんとする爐のほとり冷いなきがらとなつて横たはつたのであつた。

廢墟の白壁のような灰色の空から靜かに〳〵に粉雪が舞つて多來加の河口近くゴメの啼き聲が一しほ悲しげに聞こえた。

妻なる人も敵の刃にかけられ夫々携へて死出の旅路を同じうした。

殘るは三つばかりなる男の子一人、頑是なき幼き兒ながら餘りの恐ろしさに聲も出し得ず小屋の隅に隱れたのをアイヌは之をも果さんとて鎗を揮ひ勝鬨をあげ勇み立つて我が村へ歸つた

アイヌの引きあげたオロツコ村は嵐の後の靜けさ還つてトゞ松の林を過ぐる風の音と岸を洗ふ潮騷いのみ微かに聞こえた。

森に隱れて殺された兄なる子は夜に入つてからわが家へかくあるべしとは半ば想はぬでもなかつたが今目のあたり枕を並べて斃れてゐる繼り果てた父母のなきがらを見てはさすがに人の子の絶へ入るばかり泣き悲しむのであつた。

霎時あつてわれにかへりせめて弟なりとも尋ね出さんと思ふ折しも小屋の隅より現はれ出た心が稚き弟であつた。

彼は敵の鎗尖を小さき胸邊りに擬せられ一突きに命を絶たれんとしたのであつたがくろがね造りの胸當を着けてゐたので幸ひ身にはかすり傷だに負はず危い瀬戸際を助かつたのであつた。

今は天にも地にも二人のみの兄弟は相擁して泣いた血も今は時を移すべきでない。兄はいき絶へたる母の乳房まさぐつて泣き叫ぶ弟を扶け起し背に負ふて此處を遁れんとしたのであつたが路は遠く食ふべきものとしも無いので日頃伺ひ馴れたトナカイ一頭を屠つてその肉を干し己が糧としてその糧と兄は弟を背負ふてドローを指してたもひでの來加を落ち行くのであつた。

手とし鎖した氷が融けてオホーツクの水平線紫霞む頃になれば、樺太の沿岸にはシカベの鳥に追はれて膠しい鯨が群來する。而もこの當時にあつては之を漁るすべも知らなかつたであらう。否當時の原始生活はそれらをとつて口腹を滿さねばならぬほど行き詰つては居らなかつたのかも知れぬ。

鯨が來る、鮭が來る、豊備な環境に惠まれた當時のアイヌやオロツコなどは濟邊に紅くハマナスがうれナナカマドの紅葉が林間を彩るを見ては秋の來たのに感づき枯れそめた虎杖や八〻手やヤチタモなどに粉雪の降りかゝるを見てはまだ蟄居の冬が迫つたことを感ずに點首いたことであつたろう。

かくして幾つかの歳月は夢の如く流れた

此處に國人のなかに交つて安らけく幾年月を經る程に弟も今は一かどの男の子どもとひのびたので兩人は夢寐尚ほ忘るゝことのできなかつた親の仇を討つべく出かけた。

—（今月今日）—

△七五三祝△坂本龍馬刺さる、土佐勤王家の先業夙に勤王の大義を唱へ薩長の志士と交はり仕幕の

赤穂安兵衛

東京　桃川燕二演

村田月光畫

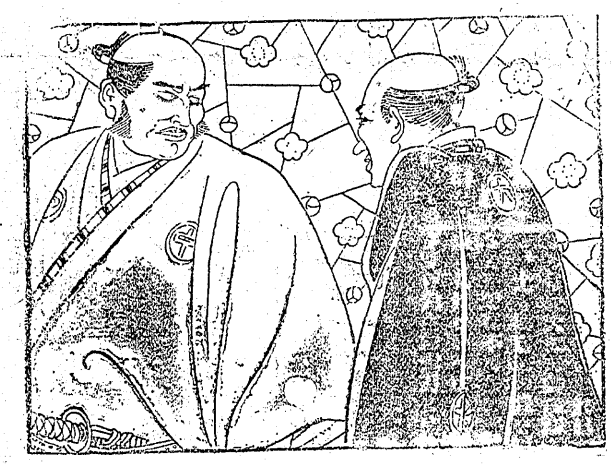
（一〇二）

此上は先生のお力を借りし狀を付けて六郎右工門を程よき場所へ宜しからう」

——「えゝ先生お助太刀をしまいば拙者が飛出す譯に

氏其許は此内でも兄分だ、氣の毒だが其處許計略をやつて貰ひ度い」……大津太夫欣然として——「先生氣は利かないが」……「兎

のだ、六郎右衛門は多分加ろへ送る、使の者を穩田の



拈華微笑

◇時間空間の偉大なる征服者超特急試驗運轉明夕平驛頭へ

◇玉川村の揉め双方文字通り泉穴

◇太敬で大漁、海のさちはストツクが出來ぬから始末が良い

◇一、九三〇年に病夫を棄てた女優な手當で親や弟を養ふ水兵人間村の兩端が珍らしい近松張りの純情な娼妓

◇

○……○

を穿つ結果とならねば良いが

講談

一刀流の流名にかゝることだ、六郎右衛門を打果さなくてはならぬ」……「夫れ中岡慎太郎と共に近藤勇でこそ師弟の情誼、まことの新選組の壯士に害せさるる（慶應三）△幕府萬年青の賣買を禁ず（嘉永五）△蘭領デヤヴア騷擾暴徒二十五名射殺さる（大正一五）

に有難く存じます、モウ當野の首は擧げたも同じことどござる」村上兄弟雀躍かんばかりに喜ぶ、祐範に於しは早速助太刀を致すべき門人を呼集める、惡人には友多し召によつて續々門人共祐範の邊邸へ詰掛ける其人々は高見又五郎、岩館芳之助、貝塚大八、齋藤爲右工門、花井今八、小松甚助牧村小十郎、伊藤李太夫、屋代傳八、池邊金三郎、太津次太夫、小靜島之進等を重なるものとして都合二十八人、何れも村上兄弟の話しを聞いて——「お助太刀仕る」……「畏まつてござる」……「宜しい引受けた」と承知に及ぶ中津川祐範が采配振りとなつて——「各々の御承知は拙者も喜ばしい、就いては一刀流はこんなものだと世間の人に知らする爲多くの人の集まる場所を撰ばねばならぬが、されば云つて神田日本橋で果し合も出來まい、幸ひなことに十月十八日は雜司ヶ谷鬼子母神の賽日、此日は江戸中の上下が擧つて參詣に出るのは盛ん畫前後牛込の高

田の馬場に於て果し合をするがよからう、各々は何と思はつしやる」……「先生仰せの通り鬼子母神の賽日は人出が多い、場所も高田の馬場は誠に結構、それでは十八日に六郎右衛門を打果すが宜しうございませう」……「村上兄弟の話しでは六郎右衛門切々の腕前らしい、萬一後れを取つては相成らぬに依つて其時は計略を以て打果す、大津氏は計略を用ひますか」……「其處許は我々と表向きの加勢に立たず、編笠で顔を隱して見物人の中に立交り愈々危いとなつたら、花々しき果し合見るに見兼ねる」によつて加勢致すと大音に呼んで、戰ひの中に飛込むて之れを六郎右衛門のとこの出の馬場に於て果し合をするのだ、六郎右衛門は多分加ろへ送る、使の者を穩田の松平左京太夫殿のお屋敷に立ち——「お頼み申します」の時に聞いてたく老人一人ちゝ多勢の果合だに依つて六……「ドーレ」出て來たの郎右衛門の助太刀に出た樣は若衆の欲次郎……「何れに一寸濁す、先方に油斷さかせて置いて打取るのだ、此役目を大津やつてくれ」……「ハア宜しうございますが、どうも詰らぬ役目だなあ、見物してゐるように六郎右衛門は計略を以て打果す、大津か討たれて終ふ、打たれて

講談

赤穂安兵衛

東京　桃川燕二演

村田月光畫

（一〇二）

此上は先生のお力を借りし狀を付けて六郎右衛門を打果さなくてはならぬ」……「夫れ中岡慎太郎と共に近藤勇でこそ師弟の情誼、まことの新選組の壯士に害せさるる（慶應三）△幕府萬年青の賣買を禁ず（嘉永五）△蘭領デヤヴア騷擾暴徒二十五名射殺さる（大正一五）

◎……ラヂオ番組……◎

仙臺　JOHK

七時三十分F陸軍特別大演習實況現場より中繼　九時A象通報　九時半F陸軍特別大演習　一太演習實況　二、講演大演習實況史蹟に就て永山卯三郎　三、合唱奉迎歌　廣島小學校兒童　十時修養講座活路いづこにあり　十一時A國際勞働講座員國際勞働樹　十一時四十分榮養料理の人々前田多門

十六日（日曜）

や本間後平　十一時A國際勞働講座員國際勞働樹　十一時四十分榮養料理の人々前田多門

し榮養研究所　正午時報　氣象通報、告知事項、今日午後の番組、告知　○時三十分A全國ニュース　○時四十分A音曲吹き寄せ　三桝家三喜之助　一時A琵琶木村重成、小山田賞　水一時三十分Aハーモニカ合奏　一、行進曲「双頭の鷲の旗の下」ヴアグナー曲川口ハーモニカ合奏　二、スペイン夜曲ピゼー曲、指揮川口章吾　三、獨奏「ソルベーグの唄」グリーグ曲、ギター伴奏鈴木重一　四、組曲「埃及の舞踊曲より」——ルイジニ曲、（イ）アレクロ

ノントロッポ（ロ）アルグレット（ハ）アンダンテエスプレラーボアレグト　二時、四時三十分A運動競技柔道日本選手權大會狀況、明治神宮外苑角力總より中繼　三時四十分三時五十分A氣象通報、經濟市況、は右運動競技放送終了後（四時三十分四時五十分）に放送す　五時B陸軍特別大演習岡山局より中繼、講演大演習の終りに臨みて陸軍少將廣瀬猛、大演習の軍司令官として陸軍大將井上磯太郎　六時（子供の時間）童謡と唱歌未定　一

文部省唱歌（イ）菊の花（一年生）（ロ）紅葉（二年生）（ハ）取入れ（三年生）（ニ）霜（四年生）（ホ）日光山（五年生）（ヘ）天照大神（六年生）　二、子供のテキスト特選童謡僕のテキストほめてつた高崎孝之作詞　吉原規作曲　三、童謡（イ）里ごろも、北原白秋作詞乘杉隆一作曲（ロ）水のぼり、西條八十作詞乘杉隆一作曲（ハ）新兵さんの馳走、本居長世作詞作曲（ニ）背くらべ、海野厚作詞中山晋平作曲（ホ）かなりや西條八十作詞成田爲三作曲（ヘ）夕燒小燒、中村西紅作詞草川信作曲（ト）さようなら、林柳波作詞宮城植次作曲　六時三十分產業ニュース（大演習放送のため十七日より繰上げ）七時A全國ニュース（官廳ニュースを含む）ニュース氣象通報、番組豫告　七時二十五分丑俚謡　一、たば子節、唱津島ユキ子、同津島サメ子、笛津島笛山二、荷方節、三味線佐藤金目、太鼓島末五郎、三秀子節、鼓小原善太郎、スリ鐘佐藤正一　八時A長唄鷺娘、唄杵屋六郎右衛門、同中村六廣、三味線杵屋寒王、同杵屋六一郎、囃子田中傳左工門社中　八時三十分B陸軍大演習（岡山局より中繼）陸軍特別大演習統監部軍樂隊、指揮陸軍一等軍樂長辻順治　一、大序さよく「一八一二年」チヤイコフスキー作きよく　二、描寫さよく「印度デルヒの戰爭」ブリーダム作きよく　三、在郷軍人の夢辻樂長編　九時義太夫忠臣藏彌作切腹の段、淨瑠璃竹本米太夫、三味線豐澤新次郎　九時四十分時報全國ニュース、氣象通報番組、豫告告知事項

拈華微笑

◇時間空間の偉大なる征服者超特急試驗運轉明夕平驛頭へ

◇玉川村の揉め双方文字通り泉穴

◇太敬で大漁、海のさちはストツクが出來ぬから始末が良い

◇一、九三〇年に病夫を棄てた女優な手當で親や弟を養ふ水兵人間村の兩端が珍らしい近松張りの純情な娼妓

○……○

そば　一把六錢　そばこ　百匁八錢　そばから　一升三錢
平町土橋　マルマン商店　電話四八九番

平町紺屋町　藤沼醫院　電話五〇七番

生花教授
池ノ坊流　生花を魅切町宿に御教授いたします、お遊びがてら御出で下さい。
平町五丁目十六番地　須藤まつの

國產品糸類大廉賣
國產特等太毛糸一オンス金十一錢
正紺染縫糸大繰一把金五錢
現今大流行のベストカメラー附屬品説明書付金一圓
現今流行の尖端ニアル麻雀附屬説明書付一組金拾八圓也
平町一丁目　雜貨　玩具　敎育問屋　森下商店

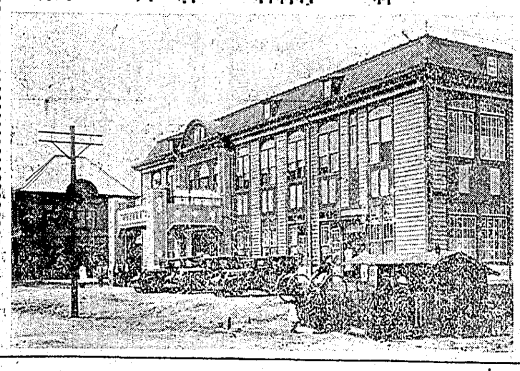
皆樣の精幸堂時計
修繕部
共存共榮をモットーとする
修繕料金　値下斷行
セーコー堂へ御用命の程願ます
平町土橋通り　精幸堂時計店

貸地廣告
平町郡役所より稅務署附近の新開地に五百餘坪の貸地があります、然かも完全な土盛でありますから流失其の他の憂ひ絶對になく商店、諸工場並に高級の住宅地として最もの適地を極ぐ安値にお貸しいたします
御希望の方は電話なり或ひは社員がお伺ひして詳しく御相談に應じます
小名濱商事株式會社　平出張所　電話六〇三番　五四一番

吉田眼科病院　平町紺屋町

ヨウ　モーダン！
斬然三〇年型だナ
ドコの新調だい
コレハレイのソレ
正札堂さ
品は豐富で撰取り見取り
時代をリードするこのスタイル

磐城共濟病院案内
本病院は時局に鑑み八月一日より入院料並に往診料左の通り低減致候間御參考迄申上候
入院料…一日（一般金貳圓也　本會員金壹圓五拾錢也）
往診料…院長及其他の博士に限り（一般金參圓也　本會員金貳圓也）（平町内）
尙地方往診料も之れに準じ低減致候間此段申添候也



（各科專門醫擔當）
內科　外科　小兒科　皮膚泌尿科　整形外科　內臟外科　產婦人科　女子泌尿科　耳鼻咽喉科　X光線科　物理學的診療科
院長　醫學博士　難波睦
本院主管　賀澤忠治
一、衛生試驗所
一、病氣相談所
一、救療所
共濟病院內
●救療を申込る方は當相談所へ御話し下さい。
昭和五年九月
磐城共濟會
平町　電話六四一番
看護婦募集

超特急車の偉容

愈明夕平驛頭に現る

鋼鐵車九輛を聯結運轉して

ボギー車卅輛の牽引力試驗

常磐線上野、水戸平間を三時間と一分で走る計畫の超特急列車の第一回試運轉は既報の如くいよ〳〵明十六日午後零時三十五分上野驛發水戸着同二時三十七分水戸發同三時三十六分平着同四時五十五分の豫定で行はれるが復路は十七日午前十時五分平發水戸着は同十一時二十二分水戸發午後零時三十分上野着同二時十五分で水戸運輸事務所ではこれが運轉に遺憾なきを期する爲十四日午後一時から機關庫に松崎運轉主任機關手同助手檢査係及び平から弓野機關庫主任機關手等列席の上運轉及び調査事項につき打合會を開いたが同列車の牽引重量はボギー客車三十輛（約三百噸）でこれが代りとして鋼鐵九輛内三等車七輛二等車二輛を連結運轉する筈である機關手は最初の運轉だけに慎重考慮し上野、水戸間は水戸機關庫の機關手瀬尾松次郎同助手荒井四郎、同高木吉次の三氏を任じ水戸平間は平の機關手鈴木八五郎同助手大和田清吉、同中島登喜發水戸着同二時二十七分三氏等の運轉に當ることに決定した、尚ほ運轉には東京鐵道局淺野技師、柳原技手その他が同乘する筈である

常磐線の大試練

結果刮目さる

超特急列車は別項の如く試運轉するがこれを現行の急行に比すると上野、水戸間で四十分上り四十七分三十秒、水戸平間は下りで四十二分上りで三十五分何れも短縮されるが東海道の五十粁の線路に比し常磐線は三十七粁で今回の超特急の如きスピードに良く堪へ得るかどうかこの點頗る疑問とされてゐる

墓地の撤退方を

小柳知事に陳情

玉川村紛擾展開

玉川村合議院は境内狹小のとせる町村聯合の青年團總會は來る二十三日植田小學校内で開催辯論並に運動競技等の催しがあるとの爲境内には絶對墓石をゆるさぬ事に大正十二年植田小代會で申し合せ其後之れを侵す者無かつたが去九月同村長鈴木常次郎氏長男一夫は境内の二坪を寺院より買受け個人の墓を建てようのみ檀家が聞き込み大騒ぎとなり早速總代會を開き善後策に就て協議の結果之れを取り除くべく決議し一夫にせまつたが應せぬので一同憤慨し結局小柳知事に之れが取り除き方を陳情するに至つたが駒木根村長は中間に立つて圓滿解決に就き奔走してゐると

明日開催の庭球納會

九曜コートで

參加數三十組

本年棹尾の石城庭球界を飾る郡下トーナメント大會は磐城軟球協會主催平倶樂部後援の下に明十六日午前八時から九曜コートに於て開催するが參加數三十組に達し非常な大騒ぎを呈したと

大敷網の大漁で

小名濱活氣づく

鰤七千本鯛八百貫其他

魚族の洄遊引續き良好

小名濱豊間の大敷網では昨朝四倉町字新町平の内の地内大慈庵跡にある衛嶺宗松禪師の墓地保存に關し同町醫師額賀裏氏並に鈴木幸次郎氏等發起の下に保存會を組織すべく目下協議中であると

衛嶺崇松禪師

墓地保存會計劃

既報四倉町字新町平の内の地内大慈庵跡にある衛嶺宗松禪師の墓地保存に關し同町醫師額賀裏氏並に鈴木幸次郎氏等發起の下に保存會を組織すべく目下協議中であると

棋界の權威

畝美五段來平

一般に教授

平町將棋愛好者有志菅木喜一郎、佐藤久吾、佐藤英治語氏の發起で東京に於ける斯界の權威五段畝美與吉氏を招き舊城跡ラジウム温泉に滞在の上一般に斯道の教授なす由

投槍

投稿歓迎

地租の免税

◇地租に免税點を設けて特殊圏内の所有者を保護することが既に誤つてゐる！それを更に引上げ、いはゆる恩惠の範圍を擴大するといふやうなことは、實際問題として無意味である

◇一體免税點を設けたといふのは、所有者の負擔の緩和をはかると共に、農業の開發進展を期し、農村振興に資するためであらう、それでこれが減免の是非を考察するには、被恩惠者たる所有者の、農村にける實際上の地歩を考察し、その資力實情を精査するを以て第一要義とせねばならぬ

◇徒らに農村不況の聲につられ、漫然引上げを斷行せんとするは農民生活の實際に副はぬ悪策とし、吾人の反對する處である

◇試みに、今免税の恩恵に浴する所有者の反別並び米に向つて、當局は努力してもらひたい　（那生）

農業政策の矛盾

◇開墾助成法による耕地の擴張も著々功を奏し、耕地整理なる事業も年々悪面に成するが、被恩惠者たる所有者の苦痛とせざる處なるのみか、しば〳〵所有者自身が大して有難くもないといつてゐる且此程度の農家は最も有利堅實なる地歩を築き村に占めてゐるといふのが實狀である

◇保護助長すべきを棄て顧みず、保護する必要もないのに、力こぶを入れるよりも、眞に農村を救ふ根本策に向つて、當局は努力してもらひたい　（那生）

農業政策の矛盾

◇開墾助成法による耕地の擴張も著々功を奏し、耕地整理なる事業も年々悪面にして多くは現狀維持であるが參稱數三十組に達し非常な大騒ぎを呈したと

投槍

農業政策の矛盾

◇開墾助成法による耕地の擴張も著々功を奏し、耕地整理なる事業も年々悪面にして多くは現狀維持であるが參稱數三十組に達し非常な大騒ぎを呈したと

些細な手當を割いて

老親幼弟を養ふ

感心な平出身の海軍兵

平町紺屋町四八太田三二(三)は大正十五年適齢で横濱海兵團に入り現在乗艦してゐるが自宅では實母トミがい辛じて口を糊してゐる狀態で地方から上京しても到底就職の見込がないから無冬枯期となり毎年地方から職を求めに上京する者が次第に多くなつて來たが東京は復興事業完成後と財界不況の結果地方より以上の就職難で現在在京する者でさ一時は往來が川となつて通行出來なかつた之れが爲め一時間一部も斷水したので折柄

哀な一家を

役場で救濟

無料治療劣交附

平町鍛冶屋大塚鐵次郎(五三)は最近胃腸病で胃かされ之れに病疾のリウマチスになやむ妻ある病弱の身體であるが之れも胃腸病で困つてゐる長女ミツ(二九)と妻を養ふ爲め家臺店の飴賣りをして細い煙りを立てゝゐたが何を言ふにもこの不況

平の各學校に

辨當泥出沒

失業者の所爲か

平町各小學校並に中等學校に最近頻繁として辨當の紛失事件が起るので當局では相當頭痛に病んで居るが小學校の方は何者の所爲とも判明せぬが中等校の曳者は或は失業者の所爲ではなからうかとの事である

平の各學校に

辨當泥出沒

失業者の所爲か

平町各小學校並に中等學校に最近頻繁として辨當の紛失事件が起るので當局では相當頭痛に病んで居るが小學校の方は何者の所爲とも判明せぬが中等校の曳者は或は失業者の所爲ではなからうかとの事である

哀な一家を

役場で救濟

無料治療劣交附

平町鍛冶屋大塚鐵次郎(五三)は最近胃腸病で胃かされ之れに病疾のリウマチスになやむ妻ある病弱の身體であるが之れも胃腸病で困つてゐる長女ミツ(二九)と妻を養ふ爲め家臺店の飴賣りをして細い煙りを立てゝゐたが何を言ふにもこの不況

些細な手當を割いて

老親幼弟を養ふ

感心な平出身の海軍兵

平町紺屋町四八太田三二(三)は大正十五年適齢で横濱海兵團に入り現在乗艦してゐる實母トミが病弱で困難に陥つたので附近の人達も專ら同情してゐるが平町役場でも之れを聞き知り鐵次郎一家に同情して十四日救濟方法として先づ無料治療劣交附したと

哀な一家を

役場で救濟

無料治療劣交附

平町鍛冶屋大塚鐵次郎(五三)は最近胃腸病で胃かされ之れに病疾のリウマチスになやむ妻ある病弱の身體であるが之れも胃腸病で困つてゐる長女ミツ(二九)と妻を養ふ爲め家臺店の飴賣りをして細い煙りを立てゝゐたが何を言ふにもこの不況

上水道の鐵管破裂

昨夜來の斷水騒ぎ

平町新川町より月見町に至る月見橋より約一間平前の水道鐵管が十四日午後十時頃鐵管一方の低下から排水管併斷面より排水し始めたので急報に接し平水道部員急行應急手當に力め今朝八時頃防水復舊するを待たが一時は往來が川となつて通行出來なかつた之れが爲め一時間斷水月見町、大町、新川町一部も斷水したので折柄

菊田青年總會

廿三日植田校で

勿來町植田町の二町を中心

駅染の男に同情して

死出の途連れし

相手は自殺幇助で取調べ中

鎌田娼妓の服毒原因判明す

昨朝平町五色町妓樓萬歳樓徐永チヨ方娼妓紅梅事茨城縣久慈郡高倉村生れ小松マツ(三一)が十四日午前一時頃猫イラズを多量に嚥下し自殺を企てた事件に關し平署で原因捜査の結果同人の馴染客である同町南町三三伊藤定治(三四)が同僚の登樓十二時近くまで何事か密談した後男から親戚の女と進まぬ結婚するが條件に自殺する者で途中猫イラズを買つて來た旨を聞かされたく男に同情し死出の途連れになると言ひ出したので始めマツに呑ませたが男は中途怖ぢ氣がさしその場から歸宅し素知らぬ顔で居たもので平署では同人も自殺の虞れあり自殺幇助として嚴重監視の下に取り調べを行つてゐる

無分別の上京を

防いで貰ひ度い

失業者群に惱む

東京府知事からの頼み

冬枯期となり毎年地方から職を求めに上京する者が次第に多くなつて來たが東京は復興事業完成後と財界不況の結果地方より以上の就職難で現在在京する者でさ一時は往來が川となつて通行出來なかつた之れが爲め一時間一部も斷水したので折柄

稲束を盗む

四倉署で檢擧

大浦村大字狐塚大樂滴男(四)は大正十五年適齢で横濱海兵團に入り現在乗艦してゐる實子正雄を養育し病床に呻吟する身となつた

魔に魅られた貞女

病夫を置て奔る

潜伏の形蹟ありと

平署へ捜索願ひ

水戸市下市檜物町二山下うめ(三六)は同棲十餘年の夫留吉(四四)が最近失職しその上病床に呻吟する身となつたので生計上同市上市泉町高野潤戸物店に女中奉公し其の給料で夫を養つてゐた貞婦であつたが五日午後八時

紙すく

踊る民よりや童よりは

◇○○○がレコードで踊る民よりスマートが好いと振りが付いてゐる、アレを足の運動の自由な洋服でやつたら一層引立つだらう、どうも赤い蹴出しが足にからみ付くのでは、表現が十分でないそれとも赤い旗出しや汽車でもとまるで、アレが好いのか

罰金の求刑

大衆黨書記長に

平町字古鍛冶町七全國大衆黨石城支部書記長高橋忠弘(三七)に係る出版法違反事件の控訴公判は十四日午前九時小野村裁判長係で開廷の結果立會の芦宜檢擧は原審通り罰金十五圓を求刑したが判決言渡は來る十七日である

平町人事

△出生

平町田町十六瓦斯會社員石坂鐵一三女節子

▲死亡

平町鍛冶田町五二秋次郎七男無職金子頼由(三一)

平町北目町六五農大谷角次(七六)

明日の吉凶

九月　新月十二日　暦六日

△一白の人　計劃のみ大にして實踐のこれに伴はざる日▲二黒の人　目前の大利を見ながらも手出しの出來ぬ日▲三碧の人　至誠を以つてすれば何事も順調に運び行くべし▲四緑の人　出先き慎めば他は順調にて

漂材を拾得

其の儘横領

江名の漁夫檢擧

江名町仲の作漁夫吉田喜十郎二月千葉縣銚子沖合で難破した米國カーリッヂ汽船の船材が江名地内に漂着したのを拾得横領した事を平署に探知され目下嚴重取調べ中

罰金の求刑

大衆黨書記長に

平町字古鍛冶町七全國大衆黨石城支部書記長高橋忠弘(三七)に係る出版法違反事件の控訴公判は十四日午前九時小野村裁判長係で開廷の結果立會の芦宜檢擧は原審通り罰金十五圓を求刑したが判決言渡は來る十七日である

平町人事

△出生

平町田町十六瓦斯會社員石坂鐵一三女節子

▲死亡

平町鍛冶田町五二秋次郎七男無職金子頼由(三一)

平町北目町六五農大谷角次(七六)

明日の吉凶

九月　新月十二日　暦六日

△一白の人　計劃のみ大にして實踐のこれに伴はざる日▲二黒の人　目前の大利を見ながらも手出しの出來ぬ日▲三碧の人　至誠を以つてすれば何事も順調に運び行くべし▲四緑の人　出先き慎めば他は順調にて

稲束を盗む

四倉署で檢擧

大浦村大字狐塚大樂滴男(四)は大正十五年適齢で横濱海兵團に入り現在乗艦してゐる實子正雄を養育し病床に呻吟する身となつた

魔に魅られた貞女

病夫を置て奔る

潜伏の形蹟ありと

平署へ捜索願ひ

水戸市下市檜物町二山下うめ(三六)は同棲十餘年の夫留吉(四四)が最近失職しその上病床に呻吟する身となつた

夜診
胃腸
内科　二十指腸虫病
専門
内科部
梅毒
淋病　婦人病　皮膚病
専門
外科部
松村性病科醫院
（平南町電話一〇七番）
療間

秋とサロン
サロンの黒ビール
天高く
氣朗かに
美味にして
芳醇の
黒ビールを召せ
サロン
田町電話三五番

内科
外科
花柳病科
入院隨意
自宅の療養も
平町田町赤心堂病院跡
安齋外科醫院
電話四三六番

皆様の
昭和タクシーは
今回全部使用車を
三〇年式新型セダンに入替ました
何卒御用命を
平驛前
電話三四三
澤正路

外科一般（入院隨意）
内臓外科專門
花柳病科
平町六丁目（橋際）
木村外科醫院
電話三〇九